

アジア太平洋地域の環境問題解決に向けて 女性の提言

2000年9月3日 開催

アジア太平洋環境女性会議にて採択

於 北九州市

アジア太平洋環境大臣会議（MCED）に
提出

2000年9月5日

於 北九州市

報告 江尻美穂子

地球環境・女性連絡会 代表

(財)アジア女性交流・研究フォーラム 理事

大臣およびご参列の皆様方

2000年9月3日、(財)アジア女性交流・研究フォーラム主催、地球環境・女性連絡会共催の「アジア太平洋環境女性会議」の参加者800人は、アジア太平洋環境大臣会議(MCED)に提言します。

私たちは、アジア太平洋地域の政府に対し、「アジェンダ21」第24章(1992年国連環境開発会議で採択)「北京行動綱領」K女性と環境(1995年の国連女性会議で採択)国連特別総会「女性2000年会議 北京+5」の成果文書を再確認し、心を新たに取り組みむよう要請します。

私たちは、男女共同参画の実現とジェンダーの視点が、アジア太平洋の環境保全のために重要であると提言します。私たちは、環境問題解決のためには、あらゆるレベルにおける意思決定への女性の参画が、最も大切だと確信します。環境に関する女性の権利は、常に環境政策の中心におかれるべきです。

私たちは、遺伝子操作のような先端技術についての情報に対する市民のアクセスが保障されるよう提唱します。私たちは、科学および先端的技術、伝統的技術についての、女性の知識水準(リテラシー)を高めることを支援します。情報に対する権利は、男性女性に対して平等に保障されるべきです。

私たちは、女性が持っている伝統的、慣習的知識や技術は、環境や健康を守るために重要だと考えます。私たちは、女性が自然資源の管理者であり生物多様性の保持者であると認識しています。しかし、自然資源管理における女性の労働を、低賃金や無償とすべきではありません。女性の労働は女性の利益や安寧に役立つべきなのです。私たちは有機農業を支持します。これが、適切で安全な食糧に対する人びとのニーズに合っており、環境に良い方法であることは検証されています。安全な食糧を求める権利が企業や市場の利益のために侵されてはなりません。

私たちは、環境悪化の影響は男女では異なることを強調したいと思います。従ってデータの収集は男女別々に行われるべきです。私たちは女性の健康に関する権利の確立を要求します。これには保健サービスや性と生殖に関する権利が含まれます。

私たちは、環境教育およびその教育者の育成に、ジェンダーの視点を統合するよう提案します。私たちは、政府に、持続可能な消費と資源循環を実現するための国際的ネットワークを構築し、強化することに対する努力を支援するよう求めます。

私たちは、世界にむけて、経済、環境、女性の健康と権利、特にリプロダクティブ・ヘルス/ライツに及ぼす、グローバル化の負の影響に対し、行動をおこすよう呼びかけます。私たちは、とりわけ、経済、環境に起因した移住により、女性の困窮、性を目的とする女性や子どもの人身売買が増えていることを憂慮します。グローバル化と必須資源のジェンダーに無知な民営化がこの傾向を助長しています。

私たちは、途上国の貧困状態にある女性たちを先ず優先的に取り上げるべきことを強調します。私たちは援助国政府に、国際開発協力に当たっては、ジェンダーの視点を主流化し、エンパワーメントのために、資源や基礎的ニーズに対する女性のアクセスを高めるよう要求します。私たちは公正な貿易、人びとのニーズに基づいた、女性、子ども、地球が守られるような、新しい経済システムを構築するよう呼びかけます。

私たちは、「アジア太平洋環境大臣会議」が、この女性の声を、「Rio+10 にむけてのアジア太平洋地域からのメッセージ」および「アジア太平洋地域の行動計画 2001-2005」に反映するよう要請します。